

▽2021年12月20日～12月22日の [Web報道紹介をワード整理版](#)

☆「医療的ケア児」体制充実求め

支援法成立半年 新潟県内に親の会発足

新潟日報 [2021/12/20](#)

<https://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20211220659853.html>

> たんの吸引など日常的に医療行為が必要な「医療的ケア児」と家族に対する支援法が成立して半年。学校や保育園での受け入れ体制充実などを求めて、新潟県内で親の会が発足した。勉強会も開かれるなど当事者の声を反映させようと動きを加速させている。今月初め、全国の医療的ケア児の家族と、看護師など支援者約100人がオンラインで集まった。県内からも、8月に発足した親の会「県医療的ケアの会ひまわり」の代表、富所俊恵さん（61）＝長岡市＝らが参加した。…略… 県教育委員会特別支援教育推進室によると11月末現在、県立の特別支援学校26校のうち、16校で計57人の医療的ケア児が学ぶ。16校には28人の学校看護師を配置している。これまで、人工呼吸器を使う児童生徒の保護者に付き添いを求めていたが、支援法成立に先立ち本年度から、学校看護師が対応できるように切り替えている。推進室は「学校看護師の確保など、ケアの体制の維持を協議していく」とした。

…などと伝えています。

* 医療的ケアガイドライン

新潟県教育委員会 [特別支援教育](#)

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1194624921842.html>

- ・ 県立特別支援学校における医療的ケアを
安全に実施するための[ガイドライン](#) 令和3年3月

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/264899.pdf>

- ・ 参考資料

県立特別支援学校における医療的ケアを

安全に実施するためのガイドライン

[～安心して教育を受けるための医療的ケアの手引き～](#)

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/264900.pdf>

☆社説：放課後デイ再編 子ども本位のサービスに

京都新聞 [2021年12月19日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/696841>

> 障害のある子どもが通う「放課後等デイサービス」などの通所支援について、厚生労働省が事業所のタイプの再編など制度の見直しを進めている。保護者のニーズの高まりを受け、事業所数、利用者数は近年、ともに急増している。半面、質が低かったり、習い事のような特定のプログラムに偏ったりしたサービスも問題となっている。支援を受ける子どもの視点に立った見直しとなるよう議論を深めてほしい。

…などと伝えています。

☆県が統一様式作成中 医療的ケア児の避難計画推進へ、

支援会議で案示す

山形新聞 [2021/12/19](#)

https://www.yamagata-np.jp/news/202112/19/kj_2021121900396.php

＞ 県は人工呼吸器などを日常的に使用する「医療的ケア児」の個別避難計画の推進に向け、統一様式の作成に取り組んでいる。障害者や高齢者など要支援者の計画策定は市町村の努力義務となっているが、前例が少なく思うように進んでないのが現状だという。県内で先行する山辺町の事例をモデルケースに記入方法をまとめ、作成作業の加速化を図る。県庁で18日に開かれた県医療的ケア児支援会議で、県が統一様式案を示した。個別避難計画は災害発生前に素早く避難するため、必要な配慮や避難済み伝える目印などを詳細に記入する。今年の災害対策基本法改正により、計画の作成が努力義務化された。本県では山辺町で初めて医療的ケア児の計画が作られ、10月には避難訓練も行われた。同町を参考にした統一様式は、自宅で人工呼吸器を使用している医療的ケア児を想定。始めに災害時の人工呼吸器の作動確認と対応の流れを掲載し、状況に応じて確認すべきページ番号を示した。安否確認する機関や担当者などを記載する連絡リストのほか、台風や大雨時の避難手順や避難場所、連絡先などを盛り込んだ。人工呼吸器や薬の処方箋などの情報を添付する欄も設けた。医療的ケア児の支援に関し、出席者からは「さまざまな災害を想定して避難先を考える必要がある」といった意見が出たほか、県などと中核市である山形市との、さらなる連携強化を求める声が上がった。年明けにも統一様式を完成させ、市町村に周知するとともに計画作成を働き掛ける。県障がい福祉課は「統一様式を基に計画の作成を進めてもらいたい」とした。県によると、県内の医療的ケア児は9月1日現在145人で、このうち20人ほどが人工呼吸器を使用している。

…などと伝えています。

* [令和3年度山形県医療的ケア児支援会議の開催について](#)

山形県健康福祉部障がい福祉課 2021年12月10日

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/25074/ikea-shienkaigi.pdf>

△医療的ケアが必要な子どもへの支援について

山形県健康福祉部障がい福祉課 [2021年11月18日](#)

<https://www.pref.yamagata.jp/090004/kenfuku/shogai/iryo/ikeacd.html>

☆医療ケア必要な子の避難は…

不安解消へ連携、北九州市で初の訓練

医ケア児の個別避難計画（上）西日本新聞 [2021/12/9](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/844356/>

＞ 北九州市で、日常的に人工呼吸器などを使う在宅の子どもと家族の災害時個別支援（避難）計画づくりが本格化している。モデルケースとなった一家の初めての避難訓練が11月にあり、支援者らが手順や課題を検証した。策定の主体は医療や福祉の事業所など官民でつくる「北九州地域医療的ケア児支援協議会」。避難先や手段の確保が難しい人たちの「万が一」を地域で支えていくヒントとは－。2回にわたって報告する。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211209nishinippon.pdf>

☆外出に慣れ、物資リスト…

準備入念に 医療的ケア必要な子の避難計画

医ケア児の個別避難計画（下）西日本新聞 [2021/12/16](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/848038/>

＞ 医療的なケア（医ケア）が必要な子どもや家族の災害時個別支援（避難）計画づくりを進める「北九州地域医療的ケア児支援協議会」。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211216nishinippon.pdf>

☆「もみじの家」ハウスマネージャー・内多勝康さんインタビュー（上）

人と人、地域・制度を結びつけ「その人らしく生きる」支えに

朝日新聞 R e ライフ [2021.12.17](#)

<https://www.asahi.com/relife/article/14478058>

> NHKのアナウンサーだった内多勝康さんは2016年、NHKを退職し、医療的ケア児の短期入所施設「もみじの家」のハウスマネージャーに転職しました。52歳のときでした。勤続30年、アナウンサーとしてのキャリアを捨てて、まるで畑違いに見える福祉の現場への転身をなぜ、決めたのでしょうか。

- ・始まりは「クローズアップ現代」での出会い
 - ・思わぬ誘い「断ったら一生後悔しつづける」
 - ・定年後のための「社会福祉士」資格が追い風に
 - ・第二の人生「自分のためじゃなく人のために」
 - ・かつこいい、あこがれの「お手本」を思い描く
- …などと伝えています。

☆「もみじの家」ハウスマネージャー・内多勝康さんインタビュー（下）

人と人、地域・制度を結びつけ「その人らしく生きる」支えに

朝日新聞 R e ライフ [2021.12.17](#)

<https://www.asahi.com/relife/article/14499303>

> 元NHKアナウンサーの内多勝康さんがハウスマネージャーを務める「もみじの家」では、医療と介護、保育の分野の専門スタッフが手を携えて「医療的ケア児」とその家族の短期入所とケアに取り組み、ボランティアの人たちもまた、欠かせない役割を担っています。人と人、人と地域や制度を結び、一人ひとりがその人らしく生きていく。そのための仕組みづくりに取り組み、各地に広げていきたいと内多さんは語ります。

- ・つかの間の休息 プロとボランティアで支援
 - ・よりよい社会の「アクション」をする現場
 - ・コロナ禍、全国の家族・支援者をネットで結ぶ
 - ・思いや声を届けることで、人の心は動く
- …などと伝えています。

☆「小学校に通いたい」医療的ケア児

特集『キャッチ』FBS福岡放送 [2021年12月15日](#)

> 特集『キャッチ』です。病気や障害で日常的に人工呼吸器などが必要な子ども・医療的ケア児についてお伝えします。「友だちと同じ小学校に通いたい」そんな夢を語る6歳の男の子と家族の姿を追いました。福岡県久留米市に住む平尾悠輝くん。

…などと伝えています。

☆人工呼吸器をつけるか迫られる決断

A L Sの母の在宅介護から見えてきた「いのち」の重さ _

ヨミドクター(読売新聞) [2021年12月7日](#)

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211104-OYTET50015/?catname=column_suzuki-nobuyuki2

- > N P O法人さくら会の川口有美子さん（上）
- ・1995年 子ども二人を連れて帰国
 - ・運動機能がしだいに衰え 寝たきりで言葉も発せなくなり
 - ・A L S 患者の「死ぬ権利」について

- ・介護保険がなかった時代に
…などと伝えています。

☆ALS患者を在宅でみるために

制度を先取りした介護職への「痰の吸引」研修事業 _
ヨミドクター(読売新聞) [2021年12月14日](#)

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211104-OYTET50016/?catname=column_suzuki-nobuyuki2

> NPO法人さくら会の川口有美子さん(下)

- ・全国を回って手技を教える
- ・ALS以外の難病や重度障害者の
生活の質の向上にも取り組む
- ・生きることによる不安を感じない社会のために
…などと伝えています。

☆災害で「命綱」使えなくなったら……

NHK山形ポータル【記者特集】 [2021/12/13](#)

<https://www.nhk.or.jp/yamagata-blog2/800/458459.html>

> 災害で停電が起きたら、皆さんの生活にどのような影響が出るのでしょうか？電気がつかない、携帯の充電ができないなど本当に不便ですね。私たちの暮らしに影響する停電が命に関わるという人たちもいます。「医療的ケア児者」です。医療的ケア児者の多くは、生きるために「人工呼吸器」やたんを吸い取る「吸引器」などの医療機器が欠かせないからです。山形県内では、これまで災害が起きたときに医療的ケア児者を支援する体制が整ってきませんでした。ことし山辺町で初めてとなる避難訓練が行われました。医療的ケア児者の命を守るためには、何が大切になってくるのでしょうか。レポートの映像はこちらから。

…などと伝えています。

* [同局記者特集：医療的ケア児](#)

<https://www.nhk.or.jp/yamagata-blog2/800/>

☆あゆみの道 寝たきりでも前へ

神戸新聞12月3日より7回連載

> 今年1月、尼崎市内で「在宅30周年+1周年記念パーティー」と銘打ったイベントがあった。イベントと言うと、ちょっと不謹慎に聞こえるかもしれない。ただ、企画した大勢の人々にとって、主役への最大限のねぎらいと親しみを込めた会だった。それはアクティブな行動で「寝たきりのパイオニア」と呼ばれた平本歩さんの通夜だった。1月16日、敗血症のため35歳で亡くなった。人工呼吸器を外せない中、4歳で病院を出て在宅生活を始めたのは前例がなく、パーティーはその31年を祝うものでもあった。

…などと伝えています。

①おうちに帰りたい 壁乗り越え扉開いた35年 12/3

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211203kobe01.jpg>

②友だちと過ごす 在宅生活始め保育園へ 12/4

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211203kobe02.jpg>

③学校生活 通い続けた普通学級 12/5

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211203kobe03.jpg>

④ 周囲の支え 全力で寄り添った父 12/7

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211203kobe04.jpg>

⑤ 父の遺言 「自立に向かって邁進せよ」 12/8

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211203kobe05.jpg>

⑥ 交通バリアフリー 新幹線乗車拒否 どうして 12/10

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211203kobe06.jpg>

⑦ 1人暮らし 部屋の愛称は「とんちん館」 12/11

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211203kobe07.jpg>

☆ 医療的ケアができる保育士、豊田市のこども園に誕生

朝日新聞デジタル [2021年12月12日](#)

<https://digital.asahi.com/articles/ASPDD02DVDP3OJB003.html>

＞ 胃ろうやたんの吸引などの医療的ケアができる保育士が、愛知県豊田市の市立こども園に誕生した。県内の公立幼保こども園では2例目。高度なケアが必要な子どもを自宅の近くなど、地域の園に通わせたいと望む保護者らの声に応えるため、市はほかの園でも態勢の充実を図る。市立童子山こども園に今年度、入園した園児の一人は、おなかに開けた小さな穴からカテーテルを小腸に通して栄養をとる。保育士20年目で、担当する亀川亜紀さんは昨年度、市こども発達センターに研修派遣され、たんの吸引や胃ろう、腸ろうなど経管栄養法の講義を受け、演習をした。市は医療的ケア児が在籍する公立こども園に、昨年4月から常勤の看護師を配置。亀川さんは対象の園児が入園した後、看護師に見守られながら現場経験を積んだ。分量を正確に測った容器から、注入ポンプを介して栄養剤を腹部へ。自宅でも、胃に見立てた調理用プラスチック容器を使い、カテーテルを挿入する練習などを重ね、手技を身に付けた。実地テストでは保護者や看護師が見つめるなか、20項目を手順通りにクリア。特定の人だけを対象に医療行為ができる「認定特定行為業務従事者」の資格を8月に取得した。園も「胃ろう又（また）は腸ろうによる経管栄養」ができる事業者として10月、県に登録された。障害児と関わる日常の中で「自らの理解や接し方はベストか」と問い、重症児対応や医療的ケアを学んできた亀川さん。それでも、医療行為の資格を取ることに「命に関わること。責任が重い」と、ためらったという。

…などと伝えています。

* 公立こども園で医療的ケア児をサポート 資格を取得した

保育士が園児の医療的ケアに取り組んでいます

豊田市報道発表日 [2021年11月24日](#)

<https://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1046494/1046815.html>

* 重症心身障がい児者とご家族のための

医療的ケアが必要な方の[情報ガイド](#)

豊田市福祉部障がい福祉課 2021年4月9日

<https://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/kaigi/kaigi/1008006/1035974.html>

☆ 福岡県が医ケア児支援施設開設へ 相談対応を一元化

【西日本新聞 me】 [2021/12/11](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/845396/>

☆ 沖縄県、医療的ケア児支援センター設置を検討

「支援の充実に取り組む」

琉球新報デジタル [2021年12月11日](#)

<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1437936.html>

☆医療的ケア児家族団体が要望 “受け入れ体制の整備を”

NHK高知県のニュース [12月10日](#)

☆完成まで試行錯誤の10年…

長期脳死の帆花ちゃんと家族の日々を

“見つめる”ドキュメンタリー

まいどなニュース [2021.12.08](#)

<https://maidonanews.jp/article/14496651>

> 出産時にへその緒が切れたことから、西村帆花ちゃんは心肺停止の状態で生まれた。2022年1月2日公開の『帆花』は、帆花ちゃんの3歳から6歳までの時間と家族の姿を静かに切り取ったドキュメンタリー映画だ。撮影は2011年からスタートし、2014年に終了している。それなのに完成まで約10年の月日を要した。その時間は、本作で監督デビューした國友勇吾監督の試行錯誤と格闘に必要なものだった。異例ともいえる長期間をかけて完成させた本作に何を託したのか。話を聞いた。

…などと伝えています。

*ドキュメンタリー映画『帆花』——

存在に巻き込まれることの希望

森岡正博 SYNODOS [2021.12.10](#)

<https://synodos.jp/opinion/culture/27590/>

△[映画「帆花」公式サイト](#)

<http://honoka-film.com/>

・予告編など掲載あり

・[映画『帆花』公開記念イベント開催 12/18](#)

☆元NHKアナウンサーが50代で医療福祉に転職した訳

ハルメク暮らし 内多勝康 [2021/12/09](#)

<https://halmek.co.jp/life/c/tips/3189>

> 元NHKアナウンサーの内多勝康さんは2016年にNHKを退職し、国立成育医療研究センター「もみじの家」のハウスマネージャーに転職。医療的ケアが必要な子どもとその家族のための施設です。52歳での大転身は、どのようにして起こったのでしょうか。

…などと伝えています。

☆「医療的ケア児」の支援センター設置 知事意向

日本海新聞 [2021年12月8日](#)

<https://www.nnn.co.jp/news/211208/20211208001.html>

☆医ケア児と家族、交流広げ 「紀いけあ」発足、和歌山で
初顔合わせ 情報共有や行政へ声、メンバー募集／和歌山
毎日新聞 [2021/12/7](#)

<https://mainichi.jp/articles/20211207/dtl/k30/040/391000c>

☆[愛知県医療療育総合センター](#)

<https://www.pref.aichi.jp/addc/index.html>

[広報活動](#) YouTube チャンネル

<https://www.pref.aichi.jp/addc/pr/index.html>

* 【医師インタビュー】

[三浦清邦医師「障害者医療とラグビーは似ている!？」](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=DJMdyuDzpW8>

☆難病の娘は県外で療養…

面会制限で数カ月に1度、10分だけの親子の時間

福井新聞 [2021年12月2日](#) (動画あり)

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1447562>

> 全身の筋肉が徐々に衰える進行性の難病「筋ジストロフィー」を患う南部友紀さん(33)＝福井県福井市出身＝は10年以上、金沢市の専門病院で療養している。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、母の淳子さん(69)＝福井市＝らとの面会が大幅に制限された。不安やさみしさが募り「福井に帰りたい」と病室でつぶやく娘に、淳子さんは「ただ命をつなぐだけでなく楽しいと思える人生を送ってほしい」と、福井県内で医療的ケアが受けられる入所施設の設置を願っている。…略… 訪問看護を利用し自宅で療養する方法もあるが「家で看護師と1対1で過ごすのでは病院と変わらない」。理想は医療的ケアに加え、他の利用者や地域住民と触れ合える入所施設だ。しかし、施設側のハードルは高い。あわら市の障害者施設「ハスの実の家」は医療的ケアが必要な重度障害者の受け入れ準備を進めているが、具谷裕司常務理事(65)は「看護人材がいらないことに加え、国からの報酬単価も低い。経営的には成り立たないのが現実」と行政支援の必要性を指摘する。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211202fukui.jpg>

☆親も子も、自分らしく生きるには

重度障害者描く映画「普通に死ぬ」

【西日本新聞 me】 [2021/12/2](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/840688/>

> 重い障害のあるわが子と年を重ね、命を削るように寄り添う親たち。その「行く先」に社会はどう向き合うのか。監督を務めた映像作家、貞末麻哉子(さだすえまやこ)さん(63)の問い掛けが胸に突き刺さるような映画だった。

…などと伝えています。

その[紙面①](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211202nishinippon.pdf>

☆「何かもう疲れてしまった。だめなお母さんでごめんなさい」

障害がある17歳の息子を絞殺した母の絶望

ワンオペ育児、自身のうつ病

47NEWS 共同通信 [2021/12/5](https://www.47news.com/2021/12/05/)

<https://nordot.app/838703398809763840>

摂食嚥下障害でも外食を楽しみたい！

“食のバリアフリー”への一歩

NHK首都圏ナビ [2021年11月30日](https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20211130a.html)

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20211130a.html>

> 「お客さんとして、堂々とその店にいられることがすごくうれしい」ある飲食店で食事をした感想を尋ねた時に返ってきたそのことばに、私は胸が熱くなりました。

誰だって大切な人たちと一緒に、いつでも、どこでも“食”を楽しみたい。これまでかなわなかったその願いを実現するための、小さいけれど、とても大きな一歩の話です。

…などと伝えています。

☆嚥下食（えん下食）で思い出の味を再現

山形・料理人の挑戦

NHKハートネット 記事 [2021年12月01日](https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/565/)

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/565/>

☆「医療的ケア児」の通学を支援

名古屋市が4月から新たな制度導入へ

親が付き添えない場合は看護師が対応

プライムニュース 東海テレビ [2021年11月28日](https://www.47news.com/2021/11/28/)

> 名古屋市は2022年度から「医療的ケア児」の通学支援制度を導入すると明らかにしました。26日の名古屋市議会本会議で教育委員会は、2022年4月から通学を支援する制度を導入すると明らかにしました。この制度では、「医療的ケア児」の親が急な都合で付き添えない時に、学校が民間の介護タクシーを手配し、看護師と一緒に通学できるようにするという事です。「医療的ケア児」は、病気の影響で栄養を取るために鼻にチューブを通したり、定期的にたんを吸引するなど、日常的に医療的なケアが必要な子どものことで、学校に通うには基本的に親が付き添っています。しかし、親が体調不良などで通学に付き添えない場合、子どもが学校を欠席せざるを得なくなることが問題となっていました。

「医療的ケア児」は現在名古屋市内に25人いて、市は子どもの事情に合わせて対応したいとしています。

…などと伝えています。

*医療的ケア児の通学、介護タクシーで送迎 名古屋市が方針

中日新聞 Web [2021年11月27日](https://www.chunichi.co.jp/news/2021/11/27/)

> 名古屋市教育委員会は二十六日、日常から医療的なケアを必要とする「医療的ケア児」の登校で保護者が通学に付き添えない場合、学校が手配した介護タクシーを利用する事業を来年四月から実施する方針を明らかにした。介護タクシーには看護師が同乗し、必要なケアをする。全国的にも珍しい取り組みという。二十六日の市議会で、自民党の西川学（ひさし）氏の質問に市教委側が答えた。市教委によると、市内では二十一校に計二十五人の医療的ケア児が在籍しており、各校に看護師が配置されている。事業では、学校が看護師を乗せて医療的ケア児の自宅に向かう介護タクシーを確保し、ケア児を送迎する。費用は市教委が負担する。医療的ケア児は、人工呼吸器などを日常的に使用してお

り、通学中にたんの吸引などが必要となる場合もあることから、保護者が学校まで車で送迎している例が多い。保護者の体調が優れない際にケア児が学校を休まなければならないことが課題となっている。

…などと伝えています。

☆公立こども園で医療的ケア児をサポート

資格を取得した保育士が園児の医療的ケアに取り組んでいます

豊田市報道発表資料 [2021年11月24日](#)

<https://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1046494/1046815.html>

＞ 豊田市では、医療的ケア児への支援体制として、令和2年4月から医療的ケア児が在園する公立こども園に常勤の看護師を配置しています。更なる安心・安全な保育の提供に向け、令和3年11月から「認定特定行為業務従事者」の資格を取得した保育士（2名）が、看護師の指導の下、医療的ケアを実施する取組を以下のとおり始めました。この取組は、公立園では県内2例目となります。

…などと伝えています。

☆重い障害児向け、住環境のヒント集 熊本のNPO法人が発行

【西日本新聞 me】 [2021/11/25](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/837020/>

＞ 自宅で暮らす重い障害児向けの住環境やリフォームのヒントをまとめた事例集を、熊本県合志市の認定NPO法人「NEXTSTEP（ネクステップ）」が発行した。成長に伴って必要な道具や環境が変わっていく半面、バリアフリー化のノウハウはあまり知られていない。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211125nishinippon.pdf>

☆女性活躍、両立支援からこぼれ落ちる母親たち

～就労に制約・困難、厳しい経済状況～

障害児の母親の就労状況と課題（上）

時事メディカル [2021/11/22](#)

<https://medical.jiji.com/topics/2358?page=1>

＞ 近年、日本では女性は最大の潜在力であるとして、女性活躍、女性の就業率の向上が図られている。政府は仕事と子育ての両立支援策として、保育所、放課後児童クラブ（学童保育）の待機児童解消に向けて取り組んでおり、厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査の概況」によると、未子が18歳未満の子どもがいる母親の就業率は、18年に72.2%、19年に72.4%と上昇傾向にある。一方、各種調査での障害児の母親の就業率は、同調査での就業率を下回っている。女性活躍、男女共同参画社会推進が掲げられる一方で、障害児の親に対しては、子どもの障害に配慮した両立支援策が確立されていない。子育てを主に母親が担うことを所与とする性別役割分業への批判的視点は不可欠だが、現状として、障害児の母親は就労に制約や困難を抱えている。

…などと伝えています。

☆県の主張奇想天外、遺族苦しめる」

給食死亡事故訴訟、母が思い語る

朝日新聞デジタル [2021年11月27日](#)

<https://digital.asahi.com/articles/ASPCV6W8HPCSTPJB00K.html>

> 大分県立南石垣支援学校（別府市）で2016年9月、高等部3年の林郁香（ふみか）さん（当時17）が給食をのどに詰まらせ、その後死亡した事故で、遺族が県などに損害賠償を求めた訴訟の口頭弁論が26日、大分地裁（石村智裁判長）で開かれた。林さんの母親で原告の香織さん（51）が意見陳述をし、訴訟での県の主張は事故調査委員会（事故調）の報告書の内容を覆すようなものだと指摘し、批判した。

…などと伝えています。

☆「命綱」医療者に感謝の写真展

東京の作家・津のギャラリーで

中日新聞 Web [2021年11月26日](https://www.chunichi.co.jp/article/372598)

<https://www.chunichi.co.jp/article/372598>

> 「医療への信頼」と題した写真展が津市美里町三郷の「gallery（ギャラリー）0369」で開かれている。作家の河田真智子さん（68）＝東京都＝が、重度の知的障害と身体障害のある娘を支えてきた医師や看護師らの姿を記録した作品が並ぶ。新型コロナウイルス禍の中、医療従事者への感謝の気持ちが込められている。

…などと伝えています。

☆人工呼吸器と共に生きる 小学生とその父親

丸岡一吹さん（9）、中野健二さん（40）

しんぶん赤旗 ひと 2021年11月25日

> 大阪狭山市に住む小学3年生の一吹さんは日常的に医療の手助けが必要な「医療的ケア児」です。生まれつき心臓疾患があり2歳の時に受けた手術中に心筋梗塞に。「生きて帰ってくるのをとにかく願った」と父親の健二さんは振り返ります。以来、人工呼吸器が常に手放せません。…略…呼吸器を付けていても自宅で暮らせることや医療的ケア児の生活を知ってほしいとSNSで発信もしています。「医療的ケアがあることで生活の場が制限され、社会との接点が減りがちで閉塞感もあります。子どもと家族への充実させ、弱い立場の人の権利を守る社会になってほしい」

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211125akahata.jpg>

☆付き添い入院、厚労省が実態調査

家族の負担把握、対応策を検討へ

共同通信 [2021/11/24](https://nordot.app/836174021309120512)

<https://nordot.app/836174021309120512>

> 乳幼児らの入院時に保護者が病院に泊まり込む「付き添い入院」について、厚生労働省が病院や入院患者の家族らを対象に実態調査を行っていることが24日、分かった。付き添い入院を巡っては、過酷な環境での宿泊による保護者の体調悪化や退職につながるなど、問題点が指摘されている。後藤茂之厚労相は同日の記者会見で「結果を踏まえて適切な対応を検討したい」と述べた。

…などと伝えています。

☆医療的ケア児の教育を保证する学校看護師への期待（清水史恵）

医学界新聞 医学書院 [2021.11.22](https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2021/3446_05)

https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2021/3446_05

> 日常生活および社会生活を営むために恒常的に医療的ケアが必要な児童を医療的ケア児という。医療的ケア児

は年々増加し、2019年時点で在宅の医療的ケア児は約2万人1)。幼稚園、小・中・高等学校に1453人、特別支援学校に8392人の医療的ケア児が在籍し学んでいる2)。幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校で医療的ケアにかかわる看護師（学校看護師）や認定特定行為業務従事者である教職員数も徐々に増加している。しかし看護師の確保ができないために入園・入学がかなわないケースや、通園・通学に親の同伴を求められるケースがある。医療的ケアを要するためスクールバスに乗車できず、別途送迎を要するが、送迎者の確保が困難で訪問教育を受けざるを得ない児童もいる。そのような状況は、教育の質が保証されているとは言い難い。2021年6月に医療的ケア及び家族に対する支援に関する法律（医療的ケア児支援法）が成立した。居住地にかかわらず等しく適切な支援を受けられるよう、学校に看護師を配置して必要な教育環境を整備することが国や自治体の責務と明示された3)。今後、医療的ケア児の教育の質保証に向けた動きが高まると予測される。保証に向けて学校看護師が十分に役割を果たすには、学校看護師の数を充足して医療的ケアの体制を整備するとともに、ケアの質や教職員と協働する力を高めることが重要だ。

…などと伝えていきます。

☆新法施行 どう支える 医療的ケア児

「もみじの家ハウスマネージャー」内多勝康氏に聞く

たん吸引など辛労重なる 家族の孤立感防ぎたい

支援センター設置に期待

公明新聞 2021年11月9日

> 「支援を受けたいがどこに相談したらいいかわからない」。医療的ケア児を育てる家族の切実な悩みの一つだ。9月に施行された、たんの吸引や人工呼吸器管理などが日常的に必要な子どもと家族を支援する「医療的ケア児支援法」では、家族の相談に総合的に対応する「医療的ケア児支援センター」を各都道府県に設置するよう求めている。センターの役割などについて国立育成医療研究センターの医療型短期入所施設「もみじの家」ハウスマネージャーの内多勝康氏に聞いた。

…などと伝えていきます。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211109koumeinews01.jpg>

* 12 / 12 [刊行記念企画](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211212kikaku.pdf>

『見捨てられる〈いのち〉を考える』著者たちと語る夕べ

> 研究者として当事者として支援者として、死生学や生命倫理に長らく携わってきた著者たちが本書を緊急出版。刊行を記念して、立命館大学教授・美馬達哉さんをゲストに迎え、著者5名と大いに語ります。

…などと伝えていきます。

△[見捨てられる〈いのち〉を考える](#)

<https://www.shobunsha.co.jp/?p=6778>

—京都 ALS 囁託殺人と人工呼吸器トリアージから—

安藤泰至 島園進 編著

川口有美子 大谷いづみ 児玉真美 著

晶文社 定価：1,980円（本体1,800円）

